

〔一〕			
(二)		(一)	
4	1	4	1
ケイエン	ツト	操る	獲物
敬遠	努めて	あやつる	えもの
5	2	5	2
トトノ	カンショ	装い	枚挙
整える	寒暑	よそおい	まいきよ
6	3	6	3
ツイ	シヨメイ	干潮	薄らぐ
費やす	署名	かんちょう	うすらぐ
各 2			
計 24 点			

〔二〕				
(五)	(四)	(三)	(二)	(一)
イ	エ	ア	「生」というもの	ウ
計 12 点				

〔三〕						
(五)	(四)		(三)	(二)		(一)
エ	り	母	ア	周	赤	イ
	に	の		の	染	
	母	祈		身	右	
	が	り		代	衛	
	死	が		わ	門	
	ん	聞		り	の	
	で	き		に	、	
	し	と		な	病	
	ま	ど		り	気	
	う	け		た	で	
	と	ら		い	回	
	思	れ		と	復	
	っ	て		願	の	
	た	、		う	見	
	か	自		気	込	
	ら	分		持	み	
	。	の		ち	の	
		身		。	な	
		代			い	
		わ			拳	
40		40				
4	10	4	8	4		
計 30 点						

記述採点の目安 どちらも①三十五〜四十字で1点。②文章が乱れていなければ1点。

さらに

(二) 「誰の」に対する「赤染右衛門の」で1点。「気持ち。」で終わって1点。

拳周の病状を「重病で回復の見込みがない」で2点。「拳周の身代わりになる」で2点。

(四) 「から。」で終わって2点。「母の祈りが通じて」と同等の内容で3点。

「自分の身代わりに母が死んでしまう」と同等の内容で3点。

〔四〕															
(五)				(四)	(三)	(二)			(一)						
訓	る	で	時	A	ウ	び	す	「	イ	イ					
練	「	深	代	イ		「	営	学							
と	学	い	が			に	み	び							
し	び	喜	見	B		伴	で	「							
て	「	び	え	ア	う	あ	は								
の	と	を	、		あ	り	体								
「	、	感	自	る	、	験									
学	体	じ	分	種	「	か									
び	験	ら	が	の	学	ら									
「	か	れ	見	感	び	新									
が	ら	る	え	動	「	し									
保	自	「	、	で	に	い									
証	分	知	他	あ	必	「									
さ	で	識	者	る	要	知									
れ	深	「	が	か	な	識									
る	く	が	見	ら	の	「									
場	「	創	え	。	は	を									
。	学	造	る		、	導									
	ぶ	で	こ		「	き									
	「	き	と		学	出									
80				60											
12				4	4	10			4						
計 34 点															

記述採点の目安

- (二) 四十五～六十字で1点。「『学び』」で1点。「体験から」と同等の内容で1点。「新しい知識を導き出す」と同等の内容で2点。「ある種の感動を伴う」と同等の内容で2点。「から。」で終わって2点。文章が乱れていなければ1点。
- (五) 六十～八十字で1点。「時代が見え」「自分が見え」「他者が見え」「『知識』が創造できる」「体験から」「自分で深く『学ぶ』訓練として」「『学び』が保証される」「場。」でそれぞれ1点。文章が乱れていなければ1点。